

プレスリリース

2015年4月27日
国境なき医師団 (MSF)

ネパール：地震被災地に医療援助チームを追加派遣——日本からも5人が出発

国境なき医師団 (MSF) は大地震に見舞われたネパールに向け、2015年4月26日現在、合計8チームの派遣を進めている。MSF 日本事務局からは、外科医、看護師、コーディネーター、ロジスティシャン (※) などを含む5人のチームが4月27日にネパールに向けて出発する。チームは、カトマンズでヨーロッパから来る別チームと合流。外科手術の機能を備えた仮設病院開設に向け現地調査を開始する。

※物資調達、施設・機材・車両管理など幅広い業務を担当

インド・欧州からも現地を目指す

インド北部ビハール州からは4チームが陸路で被災地に向かっており、4月26日午前、ネパール国境で入国許可を待っている。また、インドのデリーを発った別の1チームは空路でネパールに向かったが、余震で1度引き返した後、再びカトマンズに向かっている。このチームは26日中に現地入りし、医療援助を開始する見込み。

ヨーロッパからも医療援助チームと物資が次々とネパールを目指している。ベルギーのブリュッセルからは、高技能をもつスタッフ8人で構成された外科チーム1班が26日午後、カトマンズに向けて出発した。同チームの目的は外科病院の立ち上げと、遠隔地の被災者が対象となる移動診療。一方、フランスのボルドーにあるMSFのロジスティック・センターでは、追加の緊急物資の発送作業が進行中。MSFでは、緊急事態に素早く対応できるように、常に通関済みの救援物資を保管しており、今回も迅速に物資を被災地に届けることができる。さらにオランダのアムステルダムからも、医療および給排水・衛生活動の能力を有する1チームの派遣が予定されている。

以上

本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平

TEL：03-5286-6141/6153 携帯：090-5759-1983 FAX：03-5286-6124

E-mail: press@tokyo.msf.org <http://www.msf.or.jp>